



業種：廃棄物処理業

会社概要：廃棄物処理、リサイクル、
遺品整理、生前整理、空き屋整理

所在地：新潟県新潟市秋葉区川口字
乙580番地23

ホームページ：<http://niitsu-seisoh.co.jp/>

会社のPR情報

1966年、旧新津市の家庭ごみ収集運搬業務を受託してから半世紀以上、地域環境の保全と衛生向上に努め、地球に優しい暮らしをお手伝いしてきました。廃棄物処理はもちろんのこと、空缶やペットボトルのリサイクル、遺品整理・生前整理・空き家整理からハチの巣除去まで、地域に密着した業務も展開しています。

障害者も創業当時から受け入れており、今日では9人の障害者が全従業員と一体となって日々の業務に取り組んでいます。

2014年には「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の優良事業所表彰」、2017年には「障害者雇用優良事業所として厚生労働大臣表彰」を受章させていただき、障害者雇用への取り組みが評価されたことに従業員一同大変力づけられました。

今後とも、経営方針である「環境と福祉の融合」を目指し、住みよい地域づくりに情熱をもって臨んでまいります。

会社からのメッセージ

障害者の方は貴重な戦力として、廃棄物の収集運搬やリサイクル業務に従事しています。労働環境としては厳しいものがありますが、管理者に企業在籍型職場適応援助者・ジョブコーチの資格を取得させ、障害者とのコミュニケーションを絶やさない工夫として、ご家族や「障害者就業・生活支援センターらいふあっぷ」、「新潟市障がい者基幹相談支援センター」及び卒業学校の担当教諭も交えて意見交換を年2回以上実施するなど、障害者・ご家族・支援機関・学校・会社のネットワークを構築して情報共有を図りながら、問題解決に向け共通認識を醸成しています。

また、定着率も非常に高くほとんど離職することはありません。職場実習を経て、同学年ペアで雇用していることも定着率向上に寄与していると考えています。

障害者雇用をはじめ超高齢社会に対応した高齢者雇用も視野に入れた就労体系を目指して前進してまいります。

障害者雇用への取組 (認定に当たっての評価ポイント)

数的側面

雇用状況	実雇用率	46.67%
定着状況	過去3年間に採用した障害者の就職6か月後定着率	100.0%
	過去3年間に採用した障害者の就職1年後定着率	100.0%

体制づくり

支援担当者の配置	2009年度から、ペットボトル・空き缶のリサイクル工場が稼働するに当たり、当該業務に知的障害者2名を従事させ、その後も知的障害者を雇用したため、在職中の2014年において、工場長に企業在籍型職場適応援助者養成研修を受講させ、ジョブコーチとして管理的な業務と兼務している。
専門的な外部研修・セミナーの活用	雇用する障害者の職場定着を進めるため、障害者に関する専門知識の習得、継続的な支援を目的として、2014年に障害者が就労する部署の工場長が企業在籍型職場適応援助者養成研修を受講している。当該社員は、障害者への支援はもちろんのこと、上司・同僚への助言を行っている。

仕事づくり

過去2年間のいずれかの年で経常利益が黒字	令和3年度の経常利益が黒字となっている。
----------------------	----------------------

障害者雇用への取組 (認定に当たっての評価ポイント)

環境づくり	
障害特性に配慮した作業施設・設備等の整備	ペットボトルのラベル除去作業に際して、知的障害者で手先が不器用な社員が安全に作業を行うため、鋭利な部分のない段ボール解体用の器具を選定し、使用させている。
障害特性に配慮した作業マニュアルのカスタマイズ、作業手順の簡素化	空き缶を圧縮処理した物をパレットに積み込む作業工程において、処理物の種類によりパレットのサイズが三種類あり、それぞれ積み方が異なるため、間違えないよう積込状況を写真撮影し、作業場に掲示して見える化し、作業誤りを防ぐ工夫をしている。
障害者の職場実習生の受入れ	新潟県立江南高等特別支援学校の職場実習を受け入れている。職場実習では担当者を配置し、簡単な作業から開始して多様な職務経験ができるよう計画の上、実習生の能力やその職務にあった作業指導を行っている。
障害者雇用に関するセミナー講師や企業指導等の実施	2022年11月27日に新潟市秋葉区において、新津ロータリークラブ主催の『「障害者と共に歩む地域社会を目指す」シンポジウム』の障害者雇用促進セミナーにおいて、講師として、「6人の知的障がい者の皆さんと仕事をして」と題し、事例発表を行っている。
過去3年間に、障害者の職場定着のための外部機関との連携・社会資源の活用を実施	年に2回、支援機関及び障害がある社員とその保護者、職場の管理者での意見交換会（家族会）を行っている。 支援機関からは「障害者就業・生活支援センターらいふあっぷ」及び「新潟市障がい者基幹相談支援センター」を招いており、意見交換する中で職場と家庭での状況を把握してもらい、職場適応上の問題が起こるのを未然に防ぐための助言を受けている。